

# Spire\_M

中学・高校版

## P.2 初めての雅楽

茨城県立取手松陽高等学校 音楽科 公開講座

## P.6 立体的な読譜で，行間の表現を合唱指導に生かす

指揮者・作曲家 相澤 直人

## P.8 授業者の役に立つ和声学

作曲家 川崎 絵都夫



## P.10 With My Heart 稽古場を訪ねて

第十回 福原 徹 演奏会 徹の笛

## P.12 KOBEYA通信 第2回



# 初めての 雅楽

## 茨城県立取手松陽高等学校 音楽科 公開講座

茨城県取手市は県南の、千葉との県境を流れる利根川の北に位置し、取手松陽高等学校は1984年にこの地に開校して今年で35周年を迎えます。普通科、美術科、音楽科の3科のうち、音楽科に在籍する全ての生徒は雅楽公開講座を受講します。普段はピアノや作曲、管弦打楽器、声楽を専攻している音楽科の皆さんにとっては、初めての雅楽の楽器体験になります（3年毎の講座なので2、3年生もこの日が初めてです）。

本講座は2019年5月10日の3、4、5、6時限を利用して行われました。

まず3年生が3時限、2年生が4時限、1年生が5時限に受講（音楽科は1学年1クラス）。各時限とも前半は選択した楽器ごとに分かれてのレッスンで、後半は合奏室に集合して「越天楽（越殿楽）」一行目の三管合奏実習になります。

### 竜笛

講師 笹本武志 先生

笹本先生のデモンストレーション。「竜笛は“竜の声が出せる笛”が名称の由来」といったお話もしていただきました。



レッスンの最初は唱歌から。笹本先生が膝を打って拍をとり、皆でうたいます。

「唱歌では現代語の“ハ ヒ フ ヘ ホ”は、平安時代の発音どおり“ファ フィ フ フェ フォ”となります。」



唱歌の実習が済んだら運指の説明です。



唱歌をうたいながら運指の確認。



そして実際に音を出します。



生徒の手元には、竜笛譜（縦書きで唱歌・運指を表記）と五線譜（唱歌付記）が配布されています。

## 筆 策

講 師 鈴木絵理 先生



筆策も最初は唱歌。鈴木先生が膝を打って拍をとり、皆でうたいます。次いで運指の確認をします。



生徒のために用意された本体樹脂製の筆策。4000 円ほどで市販されていて、リード（ヨシ製）は 2000 円だそうです。本日のリードは初心者用に薄めに削ってあります。





「箏箏は指孔が小さいので指がズレないように。特に右手親指の裏孔」「プレスを取れるところではしっかりと取り、次のプレスまでに息を使いきれるとよい」「頬に溜めた息の使い方」等々の指導を受けました。

## 笙

講師 三浦礼美 先生



電熱器で温めながら三浦先生の説明を聞きます。



笙も最初は唱歌です。



笙の持ち方を確認します。

「左指4本と右指2本を使って孔を塞ぎ、さまざまな和音を奏します。和音を変えるときは塞ぐ場所を変えますが、これを“手移り”といいます。」



合竹図をよく見ながら音を出します。





3～5時限の後半は合奏室に集合して「越天楽（越殿楽）」一行目の三管合奏です。最初は楽器ごとに発表し（写真左），各人の成果に耳を傾けてから全体で合わせます（写真右）。前半の楽器別授業は30分と大変限られた時間でしたが，唱歌と運指，そして発音の基礎を集中的にしっかりと学んだことで，一行目まで吹けるようになりました。



6時限目は全学年が合奏室に集まって，講師による「雅楽の概説」「楽器紹介」そして「越殿楽」3行目までの実演を聴きます。

最後に行われた質疑応答では，雅楽の楽器をはじめたきっかけとして，笹本先生は「私は尺八の家元に生まれ，大学は邦楽科で尺八専攻でしたが，日本音楽つながりで竜笛も手がけるようになり，それが本職になりました。尺八は独奏に趣がある楽器なのに対して，竜笛は合奏が楽しい楽器です」と答えられ，鈴木先生と三浦先生は「高校は皆さんと同じ音楽科（音楽高校）で，大学ではピアノ専攻（鈴木先生），音楽学専攻（三浦先生）でした。そして教職課程の必修選択科目の中にあたり，古楽器演奏の単位習得のためであったりと，楽器をはじめたきっかけは受動的でしたが，少しずつ魅力を感じるようになり，専門家への道を進みました」とのお答えでした。



閉会は生徒代表から講師の先生方への謝辞とともに  
協力 武蔵野楽器（レンタル雅楽器提供）

# 立体的な読譜で、行間の表現を 合唱指導に生かす

指揮者・作曲家 相澤 直人

私は普段、指揮者 70%，作曲家 30%という程度の比率で音楽家をしています。合唱団の指導を十数団体、加えて全国各地への客演指揮、講習会、審査などへ週末は飛び回っており、合間の時間に執筆や作曲をしている、という状況です。器用貧乏と言われないように必死です。この仕事を始めた当初は、自分に足りない（＝声楽的な）知識や技術を手に入れたいと躍起になっていました。今もその点についてはある種の劣等感や嫉妬心などもっており、学びを深めようとしておりますが、最近は作曲家の気持ちになる指揮者として、もしくは演奏者の気持ちになる作曲家として評価をいただくことが増えてきたように思います。と同時に、合唱などのいわゆる歌唱表現において、いくつかの気づきと確信を得るに至りましたので、それを紹介したいと思います。

「読譜」や「譜読み」と呼ばれる、楽譜を前にしてまず誰もが心して臨まなければならないフェイズがあります。合唱の現場では、例えば個人やパートごとに音とりをする作業のことをそう呼ぶことが多いのですが、本来の「読譜」とは、単に印刷されている音高・音価・音量などを読んで理解し実践することだけではありません。譜例 1a をご覧ください。

譜例 1a

譜例 1b

1 回ピアノなどで音を演奏すれば覚えることが容易なレベルで、歌うのもそう難しくはないでしょう。さて、皆さんはこの譜面に何が見えるでしょう。私には、譜例 1b のように見えます。

強拍や分割拍、そして分割拍の後拍にはニュアンスがつかますし、フレーズの最高点は常に強調されるべきです。フレーズの最後の強拍には橋脚のような重心が置かれ、最初の強拍の後、音楽はそこに向かいます。最後の重心の後には音楽は収束方向へ向かいますが、最終音が跳躍進行でもたらされる場合はそこにもニュアンスがのる、等といった具合です。楽譜に表記をするのにはいささか無理がある、ニュアンスや機微と言えるようなレベルではあるでしょうが、敢えて書けば以上ようになります。なお、これらのニュアンスについては、拙著「合唱エクササイズ ニュアンス編」（カワイ出版）にて、リズム、フレーズ、感情、言葉、と四つに項目立てて細かく説明してあります。

何が言いたいかと申しますと、つまり「読譜は人によって深度に大差あり」ということなのです。楽譜をぱっと見て、音高とタイミングのみを読み取り、それを演奏できれば読譜は完璧！ と言い切ってしまう人と、例えば先程の后者の譜例のように行間のニュアンスまでを、例えばソルフェージュの知識や経験、もしかしたらセンスなどをもって読み取り、演奏に反映させる人。同じ演奏になるはずはなく、どちらがより共感が持てる演奏かといえば答えは明白でしょう。私達は昨日より今日の方が楽譜を深く読めなければなりません。読譜の力をつけるためにソルフェージュや楽典、和声、対位法などの音楽理論はもちろん、音楽形式や作品の様式、作曲家に対する知識、作曲された時代背景、語学など、あらゆる学びを深めるのです。そして、その読譜から得られた表現で聴衆や演奏者の心を動かす、何よりも自分自身を感動させることは、大げさに言ってしまうえば生きる意欲につながるものであり、だからこそ私は音楽をやめられません。「読譜」とは、楽譜から読み取れる情報量を増やす作業のことを指すと考えます。読譜人生、皆さんも一緒にいかがでしょうか。



## 作曲家の気持ちを読む



読譜とは行間までを読むべきものであることを申し上げてまいりましたが、ここで作曲家として「楽譜に書きにくいけれども表現してほしいこと」を、そうですね、いくつもあるのですが、二つほどあげてみます。楽譜とは作曲家の音楽を世界中の人に伝えるための最適なツールではありますが、だからといって全てを表現できるわけでは、完璧なものではないのです。だからこそ演奏者は考えなくてはなりません。**譜例 2**をご覧ください。4種類のアーティキュレーションを紹介しているに過ぎないのですが、皆さんはこれをどのように解釈し、演奏しているのでしょうか。



staccato は音を短く（半分くらいの長さ!? staccatissimo はさらにそのまた半分!?）、tenuto は音価いっぱい（それって普通のことでしょ?）、accento は音を強調する（最後の双子のアクセントは?）、などと考えているのでしょうか。作曲家はこれらを書くときに、そんなことは考えていません。こういう表現が欲しいんだというときに、それを最も表現してくれそうな記号を付けるのです。音を半分の長さにして欲しいからスタッカートを書くのではありません。ですからこれらの記号は一義的に解釈されるべきではなく、常にどういう音を欲しているか作曲家の気持ちに思いを馳せ、表現に普段以上の命を吹き込むべきです。これはとある人からの教えをアレンジしたのですが「読譜には、義務・興味・共感・共有、という4つの段階がある」と考えています。即ち、書いてあるからやる、作曲者の思いを考えてみる、その思いと自分が一体となる、聴衆にもそれを届けて感動を共にしたい、という4段階ですが、前2段階の時はまだ舞台上で演奏する資格はないでしょう。共感し、その音楽を共有したいという気持ちで臨めば、教育的芸術でない本来の芸術が舞台の上で発揮できるのではないのでしょうか。

閑話休題。**譜例 2**で紹介したアーティキュレーションは、時代ごとの演奏法が異なるだけでなく、作曲家によっての癖もあるものです（例えば、私の場合は音（母音）の表現ではなく歌詞、言葉の表情を強調したいときにも音符にテヌートを書くことがあります）。ですから、演奏者の立場では、どのような音が最適かを考えないといけません。ただ一つこれらの記号に共通していることは、全てが「1音ずつ切分され強調される」ことです。管楽器ならシングルタンギング、弦楽器なら弓を返す、言葉なら同じ破裂音を連続させる動作、などをイメージするとよいでしょう。スラーのように繋がるものではないのです。

## 音色の捉え方



最後にもう一つ、皆さんに考えてほしいこととして「音色」をあげたいと思います。音高や音価、音量は作曲家がほぼ意図を楽譜に示せるのですが、音色だけはどうもうまく書き表せません。歌の場合、音色とは「母音の形」とも置き換えられ、母音の形をより明るく、暗く変化させる、もしくは深く、浅くすることなどを母音調整と呼んでいます。さらには声そのものにも圧力を上げて響きを強くする（声門閉鎖を強める）、息を少々混ぜて柔らかくする（声門閉鎖を弱める、この場合声帯を痛めやすいので要注意）ことが可能です。

私たちが使う日本語の母音は言うまでもなく5種類ですが、これは世界の言語の中では最も少ない部類です（アラビア語などは3種類!）。ところが、「母音の種類が少ない」という事情をほとんどの合唱指導者は間違えて捉えています。母音が5種類しかないということは、母音が5つに限定されているのではなく、無限の音色が僅か5種に大別されていることなのです。つまりひとつひとつの母音が受け持つ表現幅がとても大きいことを意味しています。私たちは、日常生活では当たり前のように母音調整をしています。「明るい」の「あ」と、「あの野郎!」と怒るときの「あ」は異なるものです。それなのに、舞台上で歌を歌うと、発声練習でこういう「あ」を練習しているんだろうなあ、という「あ」しか聞こえてきません。まるでモノクロの世界。音色を作ることは、パレットで絵の具を混ぜながら適した色を作ることと同様の作業です。フルカラーで美しく表現してほしい、と作曲家は常に願っているのです。

# 授業者の役に立つ和声学

作曲家 川崎 絵都夫

## 和声学，最初の壁

私は20代の頃からクラシック音楽理論や楽典、ソルフェージュの個人レッスンを行なっています。当初から今に至るまで、音楽高校・音楽大学の教育学部やピアノ科、声楽科、フルート科、教育大学の音楽科などに合格した生徒さんが「和声学の授業が難しい」と言って入学後に個人レッスンを受けに戻ってくることが非常に多く、気になっていました。しかもその時期はほとんどが入学後初めての和声学の試験の直前です。

その学生たちが異口同音に言うこととは……

「和声学では連続5度が禁止されているが、バルトークやプロコフィエフなどの曲を弾いていると、この音程の進行がしょっちゅう出てきます。この作曲家たちは禁則を平気でやっているということなのですか?」「ベートーベンやシューマン、ショパンなどのピアノ曲の伴奏パートや和音の動きに、和声学の禁則にあたる連続8度や連続5度の動きがあちこちにあるようなんですが、これは間違いではないのですか?」などなど…。和声学の教科書の一番最初に出てくる「連続8度、連続5度の禁止」の規則のところで早くも頭の中に多くのクエスチョンマークが飛び交っているようでした。まずはここから「役立つ和声学」に向けて述べてみようと思います。

## 連続8度と連続5度の実際

これらの禁則についてはいくつかの説がありますが、人間の耳には響きが非常に溶け合って聞こえる「完全協和音程」の「完全8度」「完全5度」がそれぞれ連続すると「声部の独立性が損なわれるのでよくない」というのが代表的な説明です。これには「時代やスタイルが限られる」という但し書きが隠れていますが、この但し書きは和声の教科書では前書きでサッと触れているか、全く記述されないか、のどちらかが多く、そのこともこの規則の理解に混乱を起こしている理由の一つかと思われます。

また、もしこの但し書きがあったとしても、学生が「ではなぜ禁止されるの? そもそも禁止している主体は誰?」という疑問をもつのももったいと思われれます。「禁止される」という風に「受け身」で書いてある教科書が多く、しかも禁止している主体が書かれている教科書はほとんどありません。

結局、禁止される理由を大きくまとめると「ある時代のあるスタイルの音楽の中で、このような音の動きを心地良いと思わない人たちが非常に多くいた」、または「当時の天才的な作曲家たちの耳がこの進行を、心地良くない・変である…と感じて曲の中に用いなかった」となります。

### 質問 1

譜例1の\*は完全8度です。これも連続8度と捉えるのでしょうか?

Molto agitato

譜例 1

ショパン作曲 「プレリュード」から



## 回答 1

譜例 1 で完全 8 度が連なる箇所は「一つの声部をオクターブで補っている」(独立した二つの声部ではない)ものとして、連続 8 度の禁則の対象にはなりません。和声学の禁則は「独立した声部どうしの連結」を対象としているからです。

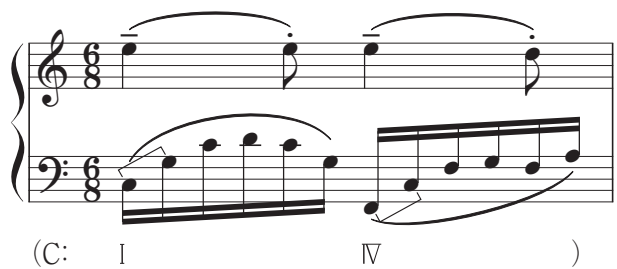
## 質問 2

譜例 2 と譜例 3 の連続する 5 度はどのように捉えればよいのでしょうか？

譜例 2



譜例 3



## 回答 2

譜例 2…主にモーツァルトの曲に現れる連続 5 度で、この進行に限っては聴いていて不快感を感じさせない(…とモーツァルトが思っている上に、聴いている人もほとんどの人が不快に感じない)ので、よく使われます。

譜例 3…I と IV の和音に共通音があることにより、連続 5 度の不快感が緩和されるので問題ありません。(= 多くの人がこの進行に不快感を感じない)

一応このような説明ができるのですが、「連続 8 度、連続 5 度の禁止とその例外」の説明だけでもこれだけの譜例や説明が必要になります。実際の授業では複数の学生を対象に限られた時間で理解させる必要があります。ましてや、ここから先の大変多くの規則や「推奨される進行」を説明するには膨大な手間と時間がかかり、実際に役に立つレベルまで和声学の習得をさせるのはとても困難だと思います。また、一般によく使用されている和声学の教科書やその他の教科書には、細かい規則は過不足なく丁寧に記載されているものの、その規則の理由や原理が一切書かれていない、という事実も、和声学の独学が困難である原因の一つのように思います。

さて、このような事情によって、学生時代に和声学の授業を履修した方たちの多くが「和声学がよくわからなかった」「和声学にコンプレックスがある」「和声学をレッスンや楽曲分析に使いたいが、とてもそこまで身につけていないように感じる」とおっしゃいます。なんとかならないかな〜と私は長年感じていました。

このような「和声学の授業がよくわからない学生」や「和声学がよくわからないまま各ジャンルの音楽指導者になり、レッスンや作編曲に和声学で習ったことが使えなくて困っている方々」を主な対象とした参考書を昨年書いてみました。和声学の『なぜ?』の部分に特にこだわって解説をしています。興味がおありの方はそちらもぜひご一読ください※。



※対話式!「なぜ?」が分かったとおもしろい和声学〈基礎編〉

株式会社フェアリー TEL: 03-5830-7151 URL: <http://www.fairysite.com>

音楽はメッセージ

# With My Heart 稽古場を訪ねて

## 第十回 福原 徹 演奏会 徹の笛

本誌 2019 年春号で稽古の様子をレポートした「徹の笛」。秋号では公演当日に演奏された全 5 曲についてお伝えいたします。



福原 徹さん



### 「みち」<sup>ほうらい</sup> 蓬萊泰三 作詞 福原 徹 作曲

笛と大鼓（福原百之助）、謡（小早川 修）による演奏で、この日の本番が初演となる作品です。合唱組曲「チコタン」や「森の子もり歌」などで知られる蓬萊泰三さんのテキストを、能楽師の小早川修さんが謡います。筆者は 3 人が奏する「みち」を、薄暮の情景を思いながら聴きました。



バルコニー席下手側で  
演奏する福原 徹秋さん



### 「樹々の密」<sup>たからさんざえもん</sup> 六世福原百之助（四世 寶山 左衛門）作曲

舞台上に 5 人、2 階バルコニー席下手・上手に一人ずつの、計 7 人の笛を配した編成です。曲が終結にさしかかった時、十本、九本、七本の調子の笛で、それぞれが大甲<sup>だいかん</sup>※の 8 の音を吹きながら、右手の人さし指を小刻みに打つ場面では、会場いっぱいに独特の音空間が広がりました。それは鳥の一群がさえずるよう。もしオリヴィエ・メシアンがこれを聴いたら、どのように感じるのだろうかと思案した瞬間でした。

笛：福原 徹、福原徹彦、福原徹秋、福原百貴、福原邑佳、正田温子、富澤優夏

※甲より高い音域



### 「Dona nobis pacem」 福原 徹 作曲

かつて福原 徹さんご自身が在籍されたNHK 東京児童合唱団との共演（指揮；金田典子）。澄み切った声の響きに包まれた笛の音が、会場の響きと相まって客席に届きます。“Dona nobis pacem（ドナノビス パーチェム）”とは「我らに平和を与えたまえ」の意。



### 「獅子」（作曲者不詳）

能楽「石 橋」<sup>しやっきょう</sup>の一場面で、歌舞伎、長唄などの近世邦楽や舞踊にも取り入れられます。

福原 徹さん奏する能管はモノログでありながら、トータルな響き。それが広い空間を満たしていきます。



笛；福原 徹，尺八；善養寺恵介，  
太棹三味線；鶴澤津賀寿，ピアノ；中川俊郎

### 「千年の桜」 福原 徹 作曲 中川俊郎<sup>としお</sup> ピアノパート作曲補佐

「千年の桜」は、「満開の桜」「竹」「皇帝の新しい服」「夢は枯野を」「千年の桜」からなる組曲。3種の和楽器とピアノがみごとに調和した、ここでしか味わえない音世界でした。

2019 年 4 月 27 日 紀尾井ホール（東京都千代田区） 主催；「徹の笛」実行委員会



# KOBEYA通信

第2回

教育出版 音楽科の Web 特設サイト「音楽の小部屋」。楽しみながら音楽を学べるコンテンツを更新中です。2018年6月に開設してから1年以上が経ち、おかげさまで多数のアクセスをいただいております。「音楽の小部屋」をこれからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 「音楽の小部屋」とは？

### コラムが読める 音楽の本棚

教科書の著者のコラム、  
オーケストラや楽譜についての  
豆知識を読むことができます。

### 動画が見れる 小部屋TV

教科書の活動を補足する動画のほか、  
作曲家からのメッセージや日本の音楽の基礎  
を学べる動画などを視聴できます。

## 音楽の小部屋



### 教育出版 音楽科の情報を まとめてCHECK

「音楽の小部屋」から小学校・中学校・  
高等学校の教授資料ページや、教材  
ページにアクセスできます。

こちらから  
アクセス  
できます。



<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/docs/music/kobeya/index.html>

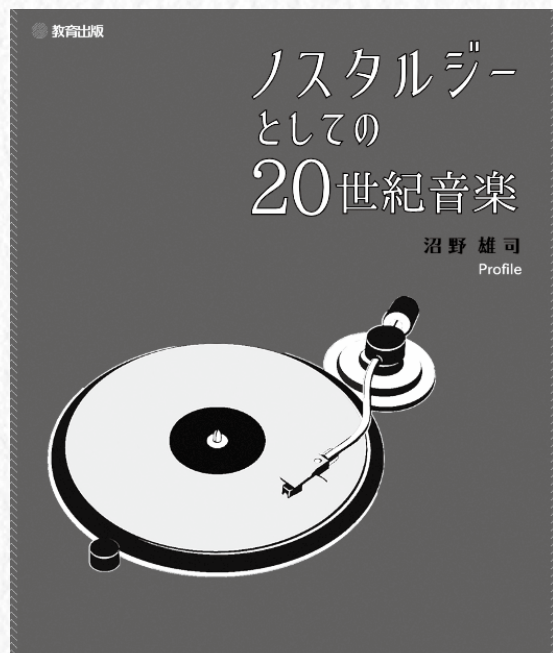
今回は…「音楽の本棚」をご紹介します！



## Point

- 教科書の著者の先生方によるコラムや、お役に立つ豆知識など、楽しくなる読み物を集めました。
- スマートフォンからも快適にお読みいただくことができます。

## コラム



## ノスタルジーとしての20世紀音楽

西洋音楽の中で、ちょっと距離を置かれてしまいがちな「現代音楽」。この名称でひとくくりにされてしまっている作曲家、作品…一つ一つに近づいて、じっくりと味わってみませんか。

独自の切り口“現代音楽は懐かしい”で、現代音楽への扉を開く、沼野雄司先生のコラムです。

### 沼野雄司（ぬまの ゆうじ）

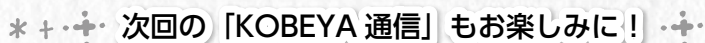
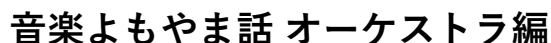
1965年東京生まれ。東京芸術大学大学院博士課程修了。桐朋学園大学教授。

『リゲティ、ベリオ、ブーレーズ 前衛の終焉と現代音楽のゆくえ』『ファンダメンタルな楽曲分析入門』（ともに音楽之友社）、『日本戦後音楽史 上・下』（共著、平凡社）他、著書多数





音楽よもやま話 楽譜編 (西洋)





# 混声合唱曲集 music jam SENIOR シリーズ好評発売中!

※価格は全て  
税込み

## music jam SENIOR 1

「ドアを開けて」 及川眠子 作詞 大澤徹訓 作曲  
「秋の夕陽」 柴田陽平 作詞 松下 耕 作曲  
「いのちの名前」 覚 和歌子 作詞 久石 譲 作曲  
「流れる水のように」 山川 啓介 作詞 三善 晃 作曲 他  
B5判 全 15 曲 1,008 円 範唱 / カラピアノ CD 3,086 円

## music jam SENIOR 2

「こころよ 自由に」 新川和江 作詞 鈴木輝昭 作曲  
「春に」 谷川俊太郎 作詞 木下牧子 作曲  
「一本の宇宙樹があった」 片岡 輝 作詞 新実徳英 作曲  
「ラ・メール」 尾崎昭代 作詞 三善 晃 作曲 他  
B5判 全 13 曲 1,008 円 範唱 / カラピアノ CD 3,086 円

## music jam SENIOR 3

「Home」 アンジェラ・アキ 作詞・作曲  
「You can fly!」 小林真人 作詞・作曲  
「Beautiful days」 Takuya Harada 作詞・作曲  
「大丈夫」 松本有加・JIMAMA 作詞 JIMAMA 作曲 他  
B5判 全 10 曲 1,008 円 範唱 / カラピアノ CD 2,571 円

## music jam SENIOR 4

「飛び立とう君の空へ」  
牧原ひつじ 作詞 森谷風太 作曲  
「My Dear」 鈴木須美子 作詞 赤尾 暁 作曲  
「風の手紙」 トモ子 作詞 新実徳英 作曲  
「さかさ眼鏡」 新美桂子 作詞 伊左治 直 作曲 他  
B5判 全 9 曲 1,026 円 範唱 / カラピアノ CD 2,700 円



お問い合わせ：☎ **03-3238-6908** FAX **03-3238-6999**

右の QR コードから web サイト曲集・CD のページへアクセスいただけます。



## 楽曲のダウンロード販売のお知らせ

教育出版の教科書や曲集に掲載した楽曲の楽譜や音源が、楽譜ダウンロード配信サイト「@ ELISE (アット・エリーゼ)」で購入できるようになりました!

### 特 徴

楽譜が1曲単位でダウンロードできます。サンプルをご覧ください。

指定のコンビニエンス・ストアで受け取れます。プリンターがなくてもOK。

参考音源(ピアノ伴奏,フル編成の演奏など)がダウンロードできます。試聴も可能です。

お支払いはクレジットカード、各種電子マネー、携帯キャリア決済などにご利用できます。(コンビニエンス・ストアでお受け取りになる場合は現金支払も可能です)。

詳細はこちらをご覧ください

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/tokushu/mps-ae/m-index.html>



<http://www.at-elise.com/>





第17回

まもなく締め切り!!

# 地球となかよし メッセージ

## 作品募集 (2019年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、  
写真 (またはイラスト) にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に  
参加賞が  
もらえるよ!

|           |                                                                                                                                              |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 応募資格      | 小学生・中学生 (数名のグループ単位での応募も可)                                                                                                                    |
| 応募期間      | 2019年7月1日～9月30日<br>詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。                                                                                           |
| 作品<br>テーマ | ①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境<br>や生き物を守るための取り組み<br>②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交<br>流、国際理解に関すること<br>③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと |

◎主催/教育出版 ◎協賛/日本環境教育学会  
◎後援/環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞  
※協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね  
<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

**教育出版**

「地球となかよし」事務局 TEL 03-3238-6862 FAX 03-3238-6887  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

入  
選  
作  
品



地球を救う花

この地球を救う花は、まずお花なので二酸化炭素を吸って、酸素を出します。それに葉と花びらは太陽光パネルになっているので、発電も出来ます。さらに花びらの部分が風で回って、風力発電も出来る花です。

みんなが大好きな自然と地球が私達の何代も先の未来でも、愛されて続けるように、こんなお花が地球中にたくさん色鮮やかに咲くいいと思いました。(中学3年)

中学・高校音楽通信 **Spire\_m** (2019年 秋号) 2019年8月31日 発行

表紙写真: 第十回 福原 徹 演奏会  
取手松陽高等学校音楽科 公開講座

編集: 教育出版株式会社編集局 発行: 教育出版株式会社 代表者: 伊東千尋  
印刷: 大日本印刷株式会社 発行所: 教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 03-3238-6864 (内容について)  
URL <https://www.kyoiku-shuppan.co.jp> 03-3238-6901 (配送について)



**なかよし宣言**

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

|       |                                                                                       |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 北海道支社 | 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F<br>TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509       |
| 函館営業所 | 〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F<br>TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198               |
| 東北支社  | 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F<br>TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395      |
| 中部支社  | 〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F<br>TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825        |
| 関西支社  | 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F<br>TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401           |
| 中国支社  | 〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F<br>TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040 |
| 四国支社  | 〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F<br>TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134                |
| 九州支社  | 〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E 室<br>TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140        |
| 沖縄営業所 | 〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F<br>TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411                   |

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」の通り、配付を許可されているものです。